

# 兵庫県但馬水産技術センターだより

## 貝毒情報(イワガキ) TKD-02-01 号

令和2年6月10日発行

プランクトン及び貝毒検査を6月8日～6月10日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

### 【概況】

- ・貝毒検査(6/10)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現も見られませんでした。

### 【検査結果】

年月日(採水・採取)		R2.6.8	R2.6.8
地点(St.)		香住	浜坂
貝類の毒化状況	麻痺性貝毒[MU/g]	ND	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	<small>アレキサンドリウム カテネラ</small> (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (新称 At complex(旧)A. <i>catenella</i> )(細胞/mL)	0	0
	<small>ディノフィシス フォルティ</small> <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL)	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン	<small>ディノフィシス アキュミナータ</small> <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL)	0	0

※NDとは検出限界(2.0MU/g)未満のことです。



### <規制の基準>

可食部の毒量が、  
麻痺性貝毒:4 MU/g  
下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

### <注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
アレキサンドリウム タマレンセ  
(旧称) *Alexandrium tamarense* 5細胞/mL以上  
アレキサンドリウム カテネラ  
(旧称) *Alexandrium catenella* 50細胞/mL以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
ディノフィシス フォルティ  
*Dinophysis fortii* 50細胞/mL以上

※プランクトン密度の単位は細胞/mLと表記します。(海水1ミリリットルあたりのプランクトン細胞数)

(mL:ミリリットル、1mLは1Lの千分の一)

※2020年4月以降の貝毒原因プランクトン*Alexandrium*属種の名称(呼称)について、(国研)水産研究・教育機構瀬戸内海  
区水産研究所が提案した呼称に従った表記に変更しています。詳しくは資料([www.hyogo-suigi.jp/kd/pdf/kaidoku.pdf](http://www.hyogo-suigi.jp/kd/pdf/kaidoku.pdf))もしくは  
水産機構の関係資料ウェブサイト(<http://feis.fra.affrc.go.jp/plankton/douteirai/alexandriumindex.html>)をご参照ください。

### 【今後の情報予定】

・7月上旬に調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報」としてお知らせします。

### §お問い合わせ先§

兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター(担当:鈴木 Tel:0796-36-0395)  
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所(担当:水産課・笹江 Tel:0796-36-1153)  
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>